

# 一般質問



## 田沢地域の活性化対策について 生保内市街地の流雪溝について

浦山敏雄

**田沢湖活性化センター（旧田沢中学校）の活用について**

**質問** 当田沢地域も人口減少が続く高齢者（六十五才以上）が三百三十二人と四十%を占めている。

少子化も進み、平成十六年度には、小中学校が統合し廃校になっている。公共施設が少なくなってきたこの地域にとって、大きな課題の一つは活性化センターの利用が未だに進んでいないことである。当地域は、先人の方々が残してきた貴重な財産が数多くあり、日本の農山村の原風景がある。

この地域の活性化を図り次世代に引きついで行くことが我々の責任でもあるが、仙北市の市長としてのご所見を伺いたい。

**市長** 田沢小中学校の統合により、空き校舎になり旧田沢湖町でも活用について活発な意見交換がされてきたことについては、承っている。

検討委員会の提言も、地域特産品の提供施設、農山村の体験研修施設、学習活動や、スポーツ活動の合宿施設、福祉関係施設などの提案、ご意

見があったと伺っている。このような趣旨を受けて、関係する部・機関の職員による検討チーム、委員会を立ち上げて地元の方々に一度ご意見を伺っていききたい。

**田沢診療所存続について**

**質問** 田沢診療所は診療を受けるだけでなく、地域住民のコミュニケーションの場としても重要な施設である。

この存続については、二つの大きな課題があると考えられる。建物や医療器具の老朽化、医療スタッフ体制の充実強化などであるが、市長の存続への対応について伺いたい。

**市長** 高齢化社会の中、非常に重要な課題である。全国的に医師が極端に不足しており、その確保に苦勞している。田沢湖病院でも十二の診療科があるが、常勤医師はわずか三名、これも減るといいう状況になっている。

このような状況の中で田沢診療所をどのような体制の中で維持し、地元の方々の期待に添えていくか、広く住民医療機関団体と議論を重ねて検討していく。

**田沢地域、幹線市道の整備について**

**質問** 幹線市道田沢線は、幅員がせまくカーブの連続であり、交通安全上、冬期除雪等危険な状況下にある。今後どのようにして整備していくのか伺いたい。

**市長** 市道の整備については、仙北市の都市建設計画に基いて、住民生活路線に優先順位をつけて順序に進めている。

**生保内市街地の流雪溝の整備について**

**質問** 本年度も約六ヶ月で降雪期に入るが、昨冬の反省も踏まえ、対策はどうなっているか。

**市長** 取水は二ヶ所で行われていたが、水量が十分でないため、これを解消するため、六枚沢から取水を進めている。急いで完成をしたい。

また、利用される市民の方々は施設の現状を理解し、その範囲の中で自ら、モラルを守って有効な利用をしていただきたい。

**質問** 田沢交流センターで不在者投票、期日前投票ができなくなっているが、交流センターで投票できるように再度委員会で協議し改正でき

ないか。

**市長** 旧三ヶ町村の公平を図るため田沢湖、角館、西木庁舎の三ヶ所に設置している。

また二重投票を防止するためでもある。

投票場所については、今後委員会の中で前向きに協議していく。

**質問** 品目横断的農業経営安定対策への市の取り組み方はどうなっているか。

**市長** 現在集落営農組織を設立しようとしている集落数は、十集落。話し合いを進めている集落は、九集落である。徐々に浸透し増えつつある段階である。



マナーが悪いのか、それとも改良を要するのか、流雪溝